



肢・病併置校 東京都立光明学園 学校通信修了式号 令和2年3月25日発行

光明の学び

東京都立光明学園

校長 田村 康二郎

東京都世田谷区松原6-38-27

電話 03-3323-8421

臨時休校が続く中、感染拡大を防ぐために全学園生の御家族が心をつなげて、それぞれができる事を見出しながら日々を重ねていただきました。その結果として開催が心配された「卒業式」「修了式」を挙行することができました。皆様の御協力に深く感謝申し上げます。

今後の「学校教育再開」等に向けての情報発信

文科省及び都教委から今後示される予定の新方針を受け次第、本校としての判断を（春休み中であっても）速やかにフェアキャスト等を用いて、全学園生の御家庭にお伝えしていきます。

祝：進級、現学年で培った学びが修了証で結実！

修了証を手にした皆さん、この1年間の学習がしっかりと身に付いたとの証明書＝進級へのパスポートです。4月からの新学年での学びに期待します！

祝：小・中学部卒業、進学おめでとう！！

3/24（火）、6年間、3年間の学業を修め終えて進学する小・中学部卒業生の皆さん、体力を養い健康を維持しながら、学習を積み上げ、大きな節目を迎えられました。祝福します。卒業おめでとうございます！

祝：本校高等部卒業、両部門22名が飛び立つ！！

3/19（木）、高等部3年間の学びを頭と心と体の間に修め終えた本校S部門19名、B部門3名の若者が、体育館に設けられた厳かな式場に臨み、高等部卒業証書を手にして、新たなステージへと飛び立っていきました。進学・就労・職業訓練、勉学と道は様々ですが、開校時から学んだ学園生であることを一生の誇りとして、それぞれの世界で活躍してほしいと願います。

祝：卒業、そよ風分教室・病院訪問学級！！

3/24（火）の午後に、そよかぜ分教室卒業式を挙行しました。治療と並行しながらの授業や自習課題にも進んで取り組む真摯な先輩の姿は、入院している多くの学園生の模範でした。式場には病室の学園生に代わって分身ロボットが出席し、リアルタイムで式を中継しました。学園生も分身ロボットを通して式辞を聞き呼名に応えました。一方、都内の各病院で卒業式を行う場合もあります。今年度は感染予防のために挙行

できず大変残念でしたが、高等部3年間で学んだ経験を生かして新たな一步を踏み出すことを祝福いたします。卒業おめでとうございます。

卒業生の母校である「光明学園」の歴史を知ろう！

節目の時に、母校の歴史を学びましょう。

光明学園の光明とは？「光」の字は、人が火籠を頭上に掲げて周囲を照らす象形文字です。明の字は、日は窓を表し、月の光が窓の中に射し込む程明るい様との意味です。母体校名「光明学校」の開校時（昭和7年）に、永田秀太郎東京市長（今の都知事に相当）が「児童の将来の幸福」を願ってコウメイと命名したからだそうです。永田市長は、書籍「我愛す偉人 諸葛孔明（ショカツコウメイ）」を著されています。（国会図書館所蔵）その後は県知事や大臣を歴任されました。（昨年の大河ドラマ「いだてん」にも市長として登場）

S部門の母体校の歴史から：日本初の公立肢体校「東京市立光明学校」が昭和7年に麻布で開校。結城初代校長先生は、麹町小病弱学級での実践を経て校長着任。病弱教育メソッドを「矯正体操」として取り入れ、現在の自立活動の基に。昭和21年に日本初の中学併設、さらに昭和33年には日本初の高等部設置。これが全国に中高設置が広がるきっかけとなりました。昭和34年に都内初のスクールバス運行。今も医療的ケアに関する事業指定校として先駆けるパイオニア校です。

B部門の母体校の歴史から：府県立健康学園の第1号である「東京府立久留米学園」は、ほぼ光明学校と同時期の昭和11年に開校。昭和17年には在籍児童数477名に達しました。昭和25年に中学部設置。久留米出身の方は各界のリーダーとして活躍中。

光明学園校歌：昭和35年に制定の母体校校歌を新学園でも歌い継いでいます。作曲者は岡本敏明先生。童謡「どじょっこ・ふなっこ」の作曲、「かえるの合唱」の作詞で知られている先生です。校長 田村康二郎